

国立大学法人福島大学の中期計画新旧対照表

現 行	変 更 案	変更理由				
<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>7-1 福島イノベーション・コースト構想による「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」に全学として参画し、上記事業における復興支援研究成果の社会横断的総合化や社会実装化、多様な人材育成事業を展開する。また、<u>復興庁により設置が検討されている「国際教育研究拠点」</u>に参画し、第一次産業の活性化と社会基盤の整備を軸とした多分野にわたる研究を展開するとともに、広域的に地域再生や社会変革につながるイノベーションを推進する。</p> <p>※福島イノベーション・コースト構想：2011年に発生した東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト</p> <table border="1" data-bbox="311 882 1016 1436"> <tr> <td data-bbox="311 882 465 1436">評価指標</td> <td data-bbox="465 882 1016 1436"> 7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加 7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講 7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に「<u>国際教育研究拠点</u>」に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が「<u>国際教育研究拠点</u>」への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進 </td> </tr> </table>	評価指標	7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加 7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講 7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に「 <u>国際教育研究拠点</u> 」に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が「 <u>国際教育研究拠点</u> 」への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進	<p>3 研究に関する目標を達成するための措置</p> <p>7-1 福島イノベーション・コースト構想による「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」に全学として参画し、上記事業における復興支援研究成果の社会横断的総合化や社会実装化、多様な人材育成事業を展開する。また、<u>福島国際研究教育機構の事業</u>に参画し、第一次産業の活性化と社会基盤の整備を軸とした多分野にわたる研究を展開するとともに、広域的に地域再生や社会変革につながるイノベーションを推進する。</p> <p>※福島イノベーション・コースト構想：2011年に発生した東日本大震災及び原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するために、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト</p> <table border="1" data-bbox="1180 847 1863 1404"> <tr> <td data-bbox="1180 847 1335 1404">評価指標</td> <td data-bbox="1335 847 1863 1404"> 7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加 7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講 7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に<u>福島国際研究教育機構</u>に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が<u>福島国際研究教育機構の事業</u>への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進 </td> </tr> </table>	評価指標	7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加 7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講 7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に <u>福島国際研究教育機構</u> に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が <u>福島国際研究教育機構の事業</u> への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進	<p>福島復興再生特別措置法の一部改正による名称決定に伴う変更</p>
評価指標	7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加 7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講 7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に「 <u>国際教育研究拠点</u> 」に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が「 <u>国際教育研究拠点</u> 」への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進					
評価指標	7-1-1_第4期中期目標期間の初年度と最終年度を比較して、「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」を含め、研究成果の事業化と社会実装の合計件数が10%増加 7-1-2_「大学等の「復興知」を活用した人材育成基盤構築事業」において、模擬授業・公開講座等を第4期中期目標期間に100件程度開講 7-1-3_第4期中期目標期間の初年度から最終年度までの間に <u>福島国際研究教育機構</u> に関連する研究課題に2件以上取り組み、本学が <u>福島国際研究教育機構の事業</u> への参画構想で示した、福島を研究フィールドとする地域創造研究を推進					

X その他

5. 中期目標期間を超える債務負担

該当なし

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	(略)	
研究科等	人間発達文化研究科	80人
	地域政策科学研究科	40人
	経済学研究科	44人
	共生システム理工学研究科	138人
	(収容定員の総数)	
	修士課程・博士前期課程	252人
	博士後期課程	18人
専門職学位課程	32人	

X その他

5. 中期目標期間を超える債務負担

中期目標期間を超える債務負担については、当該債務負担行為の必要性及び資金計画への影響を勘案し、合理的と判断されるものについて行う。

別表1 学部、研究科等及び収容定員

学部	(略)	
研究科等	人間発達文化研究科	0人 (R5募集停止)
	地域政策科学研究科	0人 (R5募集停止)
	経済学研究科	0人 (R5募集停止)
	地域デザイン科学研究科	84人
	共生システム理工学研究科	108人
	食農科学研究科	40人
	教職実践研究科	24人
	(収容定員の総数)	
修士課程・博士前期課程	214人	
博士後期課程	18人	
専門職学位課程	24人	

中期目標期間を超える債務負担（リース契約）を行う予定となったことに伴う変更

令和5年4月に大学院（修士課程・博士前期課程・専門職学位課程）を再編することに伴う変更